

各 位



薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 1 1 2 0

『プレセデックス静注液200 μ g/50mLシリンジ「ファイザー」』
オーダ開始について

α_2 作動性鎮静剤『プレセデックス静注液 200 μ g「ファイザー」』（ファイザー株式会社）は薬事委員会にて、『プレセデックス静注液 200 μ g/50mL シリンジ「ファイザー」』（ファイザー株式会社）と交換採用となりました。本剤はプレフィルドシリンジ製剤のため、溶解液は必要ありません。

平成 30 年 11 月 3 日（土）よりシリンジ製剤のオーダを開始し、バイアル製剤は当院取り扱いを中止とします。

	オーダ開始	オーダ中止
オーダ名	プレセデックス静注液200 μ g/50mL シリンジ「ファイザー」	プレセデックス静注液200 μ g 「ファイザー」
規格	200 μ g/50mL/シリンジ	200 μ g/2mL/バイアル
成分名	デクスメドミジン塩酸塩	
適応症 用法用量	<p>1. 集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期負荷投与：[成人] 6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入 ・維持投与：[成人] 初期負荷投与に続いて、患者の状態に合わせて至適鎮静レベルが得られる様、0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入 <p>また、維持投与から開始することも可</p> <p>患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速</p> <p>2. 局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期負荷投与：[成人] 6μg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入 ・維持投与：[成人] 初期負荷投与に続いて、患者の状態に合わせて至適鎮静レベルが得られる様、0.2~0.7μg/kg/時の範囲で持続注入 <p>患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速</p>	
外観写真		
区分	注射（救急科、第2外科、脳神経外科、第2内科、麻酔科、小児科限定） 平成30年11月3日（土）よりオーダ開始	注射 平成30年11月3日（土）より当院取り扱い中止

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。